【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	★Ｄ-23-１-１
事業名	避難道路整備事業(桜木町)
事業費	122,523,393 円 （内訳: 本工事費 119,372,400 円、測量設計費 1,424,520 円、 用地補償費 1,726,473 円）
事業期間	平成 24 年度～平成 28 年度

事業目的・事業地区

津波の災害リスクと向き合い、「避難する、避難できる」を基本とし、津波による犠牲者を一人も出さない「津波災害に強い安全・安心なまちづくり」を目指し、仮に被災しても人命が失われず被害を最小化する減災の考え方とし、減災の推進に当たって、避難路や避難施設等の整備を行うもの。

事業結果

平成 24 年度～平成 25 年度	用地取得に係る地権者との協議
平成 26 年度	桜木町避難路整備事業に係る不動産鑑定評価業務
	桜木町避難路整備事業に係る測量業務
	桜木町避難路整備事業に係る立木補償金
平成 27 年度	桜木町避難路整備事業に係る土地売買契約
平成 28 年度	桜木町地区避難路修正設計業務委託
	桜木町地区避難路整備工事

【事業概要】

組立避難路　L＝255.6m、W＝1.5m

事業の実績に関する評価

本事業により、東日本大震災津波により浸水被害のあった桜木町地区等の住民の避難安全性を確保することを目的に整備したものである。当該避難路は、桜木町地区から林道城山１号線まで通じることになり、この林道城山１号線は、有事の際に町が災害対策本部を設置する町中央公民館につながっているため、住民の避難はもちろんのこと、自衛隊や消防などによる救助のために使用されることが可能となったことから、有益な事業であると評価できる。

各種調査・分析・評価

①　事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

これまで避難勧告発令等の津波災害事象が発生していないため、実際に避難路として活用された例はないが、地域の防災訓練等の際に当該避難路を活用した訓練が行われており、防災・減災のために有益に活用されていることから本事業は適切であると考えられる。

②　コストに関する調査・分析・評価

地山を切土し避難路を整備する従来の方法に比べ、軽量部材を使用した組立式の構造とすることでコストを縮減することができている。

また、調査設計費の積算は、設計業務等標準積算基準等により積算を行い、工事費の設計・積算は、公共土木工事標準積算基準等により積算を行い、いずれも大槌町財務規則等に基づき入札を執行し、業者を選定していることから妥当な事

業費として判断できる。

単位：千円

	H24.8.31 申請	備考
使途協議額	142,958	不用額：20,434

※ 増額等の追加申請はなし。
※ 事業費の精算によって、20,434 千円が不用額となり国庫返納を行った。

③　事業手法に関する調査・分析・評価

	事業期間		備考
	計画	実績	
調査・測量・設計	H24.10 ～ H24.12	H24.10 ～ H28.7	用地取得に係る協議に時間を要したため
用地買収	H24.10 ～ H24.12	H24.10 ～ H28.3	用地取得に係る協議に時間を要したため
本体工事	H24.12 ～ H25.4	H28.9 ～ H29.3	用地取得に係る協議に時間を要したため

当初は平成 25 年度に事業完了見込みであったが、用地取得において、地権者からの同意をいただくことに時間を要したため、調査・測量・設計及び本体工事に大幅な遅れが生じる結果となった。

しかしながら、時間は要したものの地権者との合意を図り、計画通りの線形で整備することが可能となった。

上記を踏まえ、本事業の事業手法、期間は妥当であると評価できる。

事業担当部局
大槌町防災対策課　電話番号：0193-42-8781

位置図

桜木町避難路
石坂森
鯨山
大槌
浪板
吉里吉里
安渡
赤浜
大槌港
大槌湾
片岸町
三枚堂
白沢
寺野
生井沢
大石前
夏本
沢山
辺津ヶ沢
屋敷
源水
桑畑
伸松
小枕
白石
松島
雀島
室浜
七戻崎
名越島
浪ノ助島
長根島
丸島
松島
弁天島
四十八坂海岸
浪板海岸
不動滝
小鯨山
大ヶ口